

市民の意見30の会・東京 会計報告

2013年5～6月

1. 損益計算書 (会基本会計)			
収入の部		支出の部	
一般会費	441,000	印刷費(*1)	399,906
協力会費	120,000	発送費(*2)	148,080
敬老会費	584,000	通信費	16,562
障害者会費	2,000	消耗品費(*3)	48,147
(会費小計)	1,147,000	編集経費(*4)	33,040
カンパ	395,600	交通費(*5)	53,720
市民の意見販売	3,400	家賃(*6)	110,490
グッズ等販売	7,400	光熱費	8,330
		手数料	1,365
		雑費	5,773
収入計	1,553,400	支出計	825,413
		当期損益	727,987
前期繰越	6,066,279	当期残高	6,794,266
2. 貸借対照表 (次期繰越金)			
資産の部		負債の部	
現金	59,553	預かり金(*8)	311,800
預貯金	7,945,405	F/I基金	1,165,820
立替金(*7)	171,643	条約基金	176,715
敷金	272,000	会基本会計	6,794,266
合計	8,448,601	合計	8,448,601

注 (*1) 「市民の意見」138号印刷費。(*2) 市民の意見」137号発送費。(*3) 振替用紙¥27,405、インクトナー代¥10,758 他。(*4) 図書カード代¥31,040 他。(*5) スタッフ交通費補助5～6月分¥47,880、編集外出交通費等。(*6) 事務所家賃4・5月分¥100,000、火災保険料¥10,490。(*7) 事務所家賃、光熱費、通信費等意見広告負担分6～7月分。(*8) うち意見広告賛同金は5～6月分¥309,300。

今年の初めに「日本人で、安全より安心よりお金が一番というのがよく判りがっかりです。」という知人の年賀状の言葉をご紹介します。都議選、参院選を経てますますそのことを実感しています。しかし、一方でそんな政治に危機感を持つ人々も増えているような気がします。と言うのも第12期意見広告運動の報告書発送直後から、予想を超える入金が事務局へ寄せられています。その大半が新規入会の方からで、うれしい悲鳴とともに入力作業や感謝の御礼状作成にと、てんやわんやの3週間あまりでした。また、次期意見広告への賛同金も引き続き寄せられていますので「この現状、なんとかせねば！」と云う皆さんの声が聞こえてくるようです。

そんなわけで、ごらんとおり今期は、会費のほかカンパもたくさん寄せられ大幅な黒字となりました。ちなみに6月の新規入会者数は133名で、このところ退会者が続き淋しい思いをしていましたので、久しぶりに活気を取り戻した事務局です。

今回ご入会いただいた方々の会費の期限は2014年8月ですが、事務作業の都合上、毎回本誌発送時に振替用紙を同封させていただいています。ご継続いただける方は、会費の期限をご確認のうえ、ご送金くださいますようお願いいたします。

なお、会費の期限は、お手元に届く封筒の宛名シールの右下に印刷されています。

(上口)

反改憲・非核・脱原発の戦いの指針の一冊として

◇ 『核の力で平和はつぐれない』

—私たちが非核・脱原発を主張する18の理由—

市民意見広告運動編/合同出版、A5版140ページ/定価1260円(税別)

執筆者: 浅井基文、島川雅史、田浪亜央江、武藤一羊、山口響、山口幸夫、山崎久隆



◇ 『武力で平和はつぐれない』

—私たちが改憲に反対する14の理由—

市民意見広告運動編/合同出版、A5版126ページ/定価1000円(税別)

執筆者: 天野恵一、井上澄夫、太田昌国、木本茂夫、国富建治、辻子実、橋本保彦、細井明美、本野義雄、吉川勇一



*会員の皆様には、送料込みで、それぞれ定価の1割引きで、頒布いたします。ご注文は、「市民の意見30の会・東京」へ。

